

実習内容
ならびに
スケジュール

シミュレーション実習

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月				
火				
水				
木				
金	【午前中】 シミュレータの種類・特徴の理解、 基本操作の習得および シミュレーションの実施	臨床教育統括セン ター教職員	9:00	臨床教育統括セン ター (1号館4階) 共用カンファレンス ルーム

◎ 診療科名： シミュレーション実習

◎ 責任者氏名： 篠原 尚 臨床教育統括センター長

◎ 指導教員氏名：

卒後臨床研修センター

竹田 健太 卒後臨床研修センター長

臨床教育統括センター

柏 薫里 講師、山口 円 兼任教員、湯浅 真裕美 兼任教員

長瀬 雅弘 兼任教員

◎ 実習概要

シミュレータに関する基本的な知識および操作を学び、それらを活用して基礎的なシミュレーションを実施する。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- ・シミュレータの種類・特徴（用途）を説明できる。
- ・複数のシミュレータの基本的な操作ができる。
- ・シナリオに沿って、シミュレーションを実施できる。
- ・グループで協働しながら実習に取り組むことができる。

◎ 準備学習ならびに事後学習に要する時間

本学のシミュレーションセンターが保有するシミュレータの種類と特徴（用途）を事前にHPから確認し調べておく。（1.5時間程度）

シミュレーションセンター シミュレーター一覧：

<https://www.hyo-med.ac.jp/professional-education/career-support/simulation-center/simulator-list/>

◎ 評価方法

知識、態度（積極性）、コミュニケーション、シミュレータを用いた技能評価について評価。

評価基準をループリックで明示。

【知識★】

点数	基準
5	シミュレータの種類・特徴を理解し、目的に応じたシミュレータを提案できる。
4	シミュレータの種類・特徴を理解し、基本的な用途を説明できる。
3	シミュレータの種類・特徴を概ね理解しており、説明できる。
2	シミュレータの種類・特徴の理解が不十分である。
1	シミュレータの種類・特徴の理解が乏しい。事前学習が極めて不足している。

【態度（積極性）★】

点数	基準
5	主体的に行動し、周囲に良い影響を与えている。
4	質問・発言し、自主的に実習に取り組むことができる。
3	指示があれば適切に行動できるが、質問や発言は少なめである。
2	質問には答えるが、受動的である。
1	実習への取り組む姿勢に問題がある。

【コミュニケーション★】

点数	基準
5	学生同士や教員との関係を効果的に構築し、グループワークにおいて良好な双方向のコミュニケーションができる。
4	コミュニケーションがスムーズで、必要な情報を正確に伝えることができる。
3	学生同士や教員との基本的なコミュニケーションは可能である。
2	コミュニケーションがぎこちなく、基本的な情報のやり取りが十分にできない。
1	コミュニケーションがほとんど取れず、会話が成立しない。

【シミュレータを用いた技能評価】

点数	基準
5	シミュレータを自立して適切に操作し、シナリオを円滑に実施できる。/部分課題トレーナーを用いた手技を正確・安全に実施できる。
4	シミュレータを適切に操作し、概ねシナリオに沿って実施できる。/部分課題トレーナーを用いた手技を正確に実施できる。
3	一部支援を必要とするが、シミュレータを用いた基本的なシミュレーションを実施できる。/部分課題トレーナーを用いて基本的な手技を実施できる。
2	シミュレータの操作・シミュレーション実施に不十分な点があり、頻回の支援が必要である。/部分課題トレーナーを用いた手技は不正確で、実施には支援が必要である。
1	シミュレータの操作・シミュレーション実施がほとんどできない。/部分課題トレーナーを用いた手技の理解・実施が困難である。

◎ 中間評価とフィードバック

実習終了時に、その場でフィードバックを行う。

◎ 注意事項

- 当日は9時に1号館4階臨床教育統括センターの講義室または共用カンファレンスルームに集合すること。
- 集合時間を厳守すること。
- 実習内容は当日説明する。
- シミュレータの教育的意義を理解し、医療場面を想定しながら、安全かつ丁寧に取り扱うこと。
- 臨床実習の一環として、医療者として適切な態度で取り組むこと。
- 本実習は患者の協力を必要としないため、状況に応じて実施日を他の診療科実習の予備日に変更する可能性がある。変更が生じた際には、別途指示する。